



the most beautiful
villages
in japan



伊豆の長八美術館



雲見海岸からの富士山

数字から見えてくる

松崎町 町勢要覧

石部の棚田



まち灯り(伊那下神社)



富貴野山宝蔵院



依田之庄露天風呂



那賀川堤の桜

Matsuzaki

令和6年3月

松崎町

松崎海岸からの夕景



重要文化財 岩科学学校



地域交流館 浜丁





ここでは、誇り高く、 穏やかに、豊かに生きられる ～コンパッションタウン松崎～

緑深い天城山系のふところに、澄み切った水、大地の恵み、温泉、そして国立公園や国の名勝地にも指定された美しい海岸線をもつ松崎は、昔から海上交通の要衝として、また文化や産業の重要な発信地・連携地として、人々の豊かな暮らしを築き上げてきました。

現在、町は少子高齢化や情報化といった時代の波のなかで、町民が地域に愛着を持ち、だれもが誇り高く、穏やかに、豊かに生きられる「コンパッションタウン」を目指したまちづくりに取り組んでいます。

データを通して現在の松崎町の姿をよく知ることで、一人ひとりの力を、暮らしやすい快適なまちを築く、大きな力にしていきたいと思います。

目次

地勢	2
生活	3
産業	4
福祉、教育	6
議会、行政	7
財政	8
一年で見る松崎町の数字	9
町民一人あたりにおける予算の使われ方	9



海のピカ市



雲見温泉さざえ祭り



松崎町のうたコンサート



ひじき刈り



消防団出初式



大峰歩道(道部)からの眺望



岩地海水浴場



式三番叟(江奈)



秋祭り



天王祭(峰輪)



千貫門と富士山



まちかど花飾り

位置と地勢

伊豆半島西海岸の南部に位置する松崎町は、北は西伊豆町、東は河津町と下田市、南は南伊豆町に接し、北・東・南の三方を天城山系に囲まれ、西は駿河湾に面しています。那賀川、岩科川の流域には約 500ha の耕地をもつ伊豆西海岸最大の平野を形成しています。海岸線は砂浜や岩礁など彩りに富み、気候もおだやかで、伊豆西南海岸の産業・交通・観光の拠点となっています。



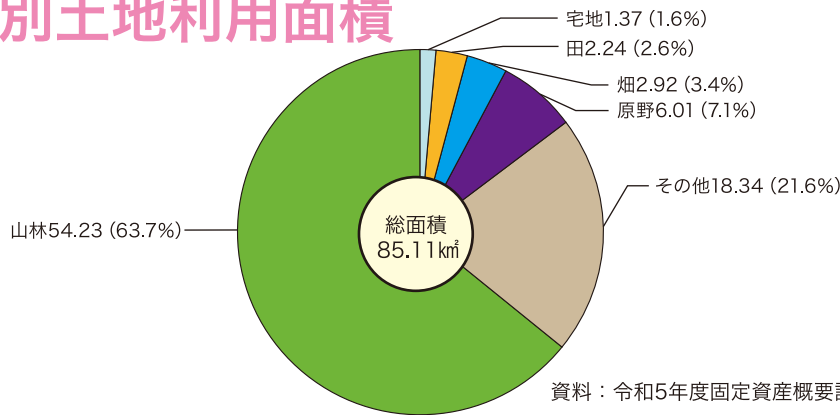
沿革

松崎町の区域は、古くは那賀郡に属し、中世には松崎郷・那賀郷・岩科郷が存在しました。江戸時代には幕府領、大名領地、旗本知行地として支配されました。明治維新後は当初韮山県、次いで足柄県に属し、明治9年には静岡県に属しました。明治12年郡制施行の際は、那賀川北側10カ村は那賀郡、南側11カ村は賀茂郡に属しました。明治22年の町村制施行により松崎・江奈・桜田・伏倉・宮内の5カ村は松崎村、小杉原・明伏・南郷・池代・大沢・峰輪・門野・船田・吉田・建久寺・那賀の11カ村は中ノ郷村、岩科・道部・岩地・石部・雲見の5カ村は岩科村として発足しました。その後、中ノ郷村は明治24年に中川村と改称し、松崎村は明治34年町村制を施行して松崎町と改称。昭和30年3月31日松崎町と中川村が合併して新たに松崎町として発足、翌31年6月1日岩科村と合併して現在の松崎町となりました。

面積	役場の位置	
	東経	北緯
85.11 km ²	138°46' 44"	34°45' 11"

資料：国土地理院公表データ

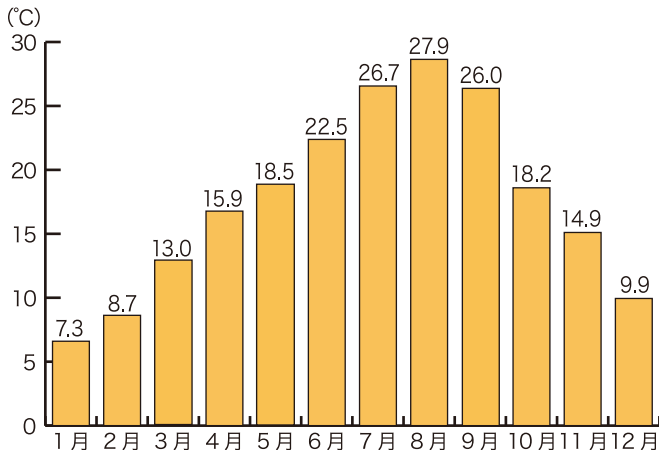
地目別土地利用面積



資料：令和5年度固定資産概要調書

月別平均温度

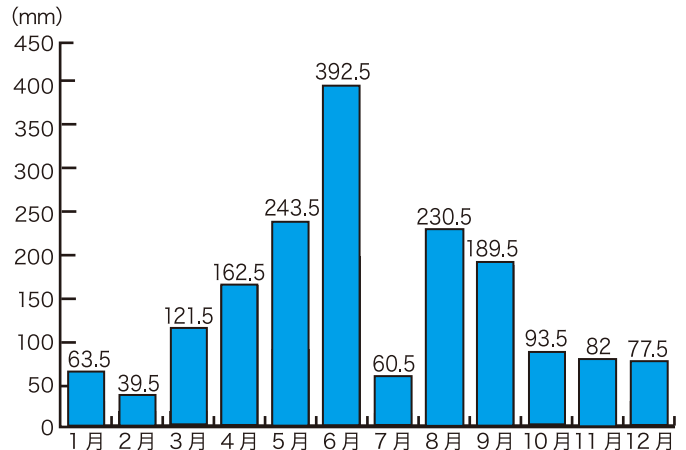
平均気温 17.5℃ 最高気温 35.0℃ 最低気温 -2.3℃



資料：令和5年気象庁気象統計情報

月別降水量

年間降水量 1,756.5mm



資料：令和5年気象庁気象統計情報

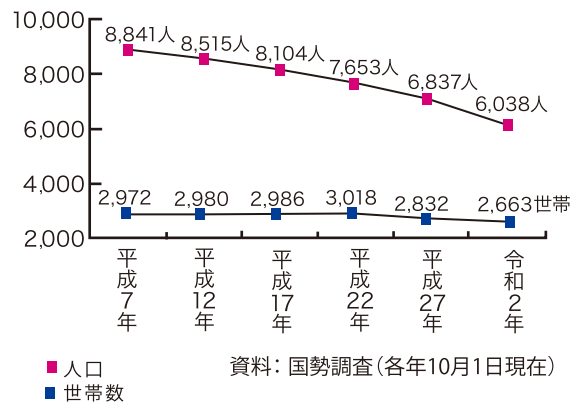
豊かな自然資源や古くからの文化資源などが数多く残っていますが、少子高齢化や過疎化が進んでいます。今後も、安心して子どもを育てることができ、生涯にわたって生きがいを持ちながら健康に暮らすことができる環境づくりが求められています。

人口

(令和2年国勢調査)



人口・世帯数の推移



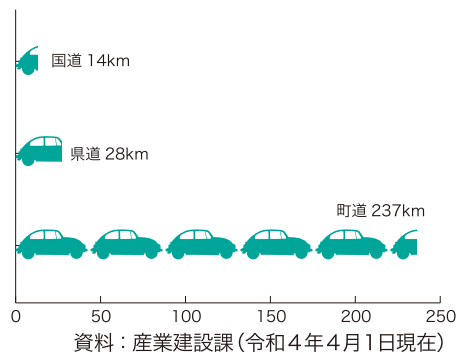
人口動態

単位：(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
自然動態	出生	24	23	10	14	17
	死亡	124	123	124	142	143
	増減	-100	-100	-114	-128	-126
社会動態	転入	148	131	132	140	170
	転出	214	222	194	185	181
	増減	-66	-91	-62	-45	-11
年間増減	-166	-191	-176	-173	-137	

資料：窓口税務課(住民基本台帳)

道路状況



水道普及の推移

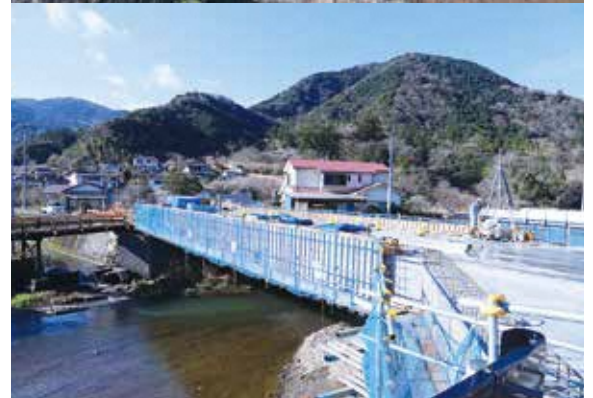
	配水管延長(m)	給水戸数(戸)	給水人口(人)	普及率(%)
平成30年度	52,834	3,542	6,533	99.41%
令和元年度	52,834	3,516	6,345	98.97%
令和2年度	53,125	3,481	6,168	98.93%
令和3年度	53,125	3,456	5,999	98.96%
令和4年度	53,125	3,448	5,863	98.95%

資料：生活環境課

火災発生、交通事故件数の推移

	火災発生件数(件)	交通事故件数(件)
平成30年	8	13
令和元年	4	20
令和2年	1	9
令和3年	2	12
令和4年	0	16

資料：総務課

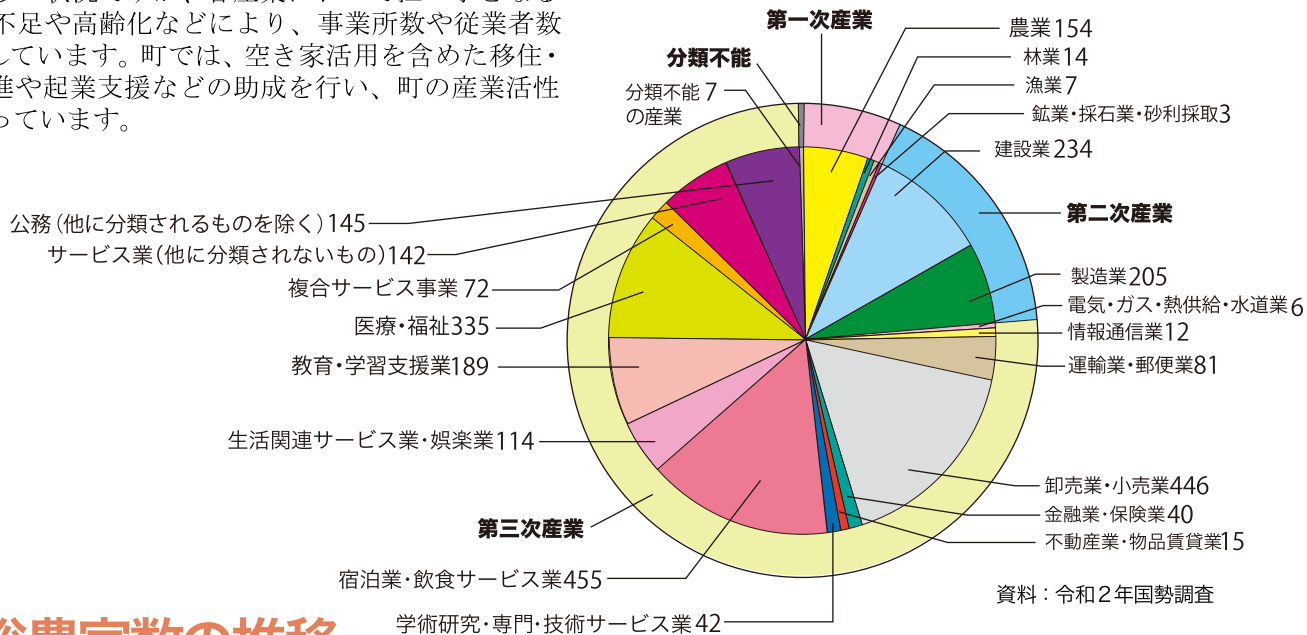


工事が進む町道山口雲見線(山口)

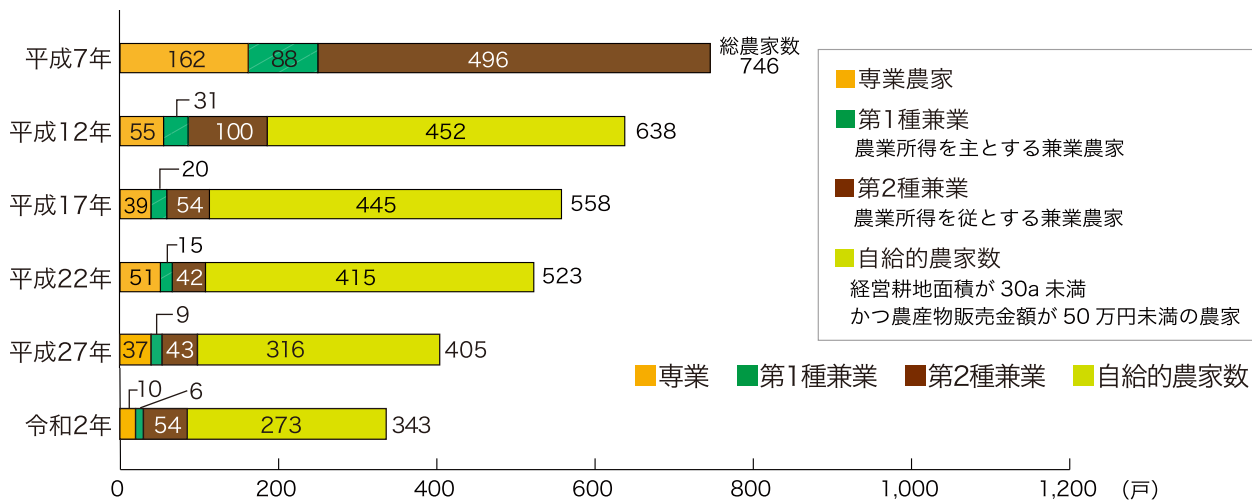
産業

松崎町の産業は、観光業を中心とした第三次産業の割合が多い状況ですが、各産業において担い手となる後継者不足や高齢化などにより、事業所数や従業者数が減少しています。町では、空き家活用を含めた移住・定住促進や起業支援などの助成を行い、町の産業活性化を図っています。

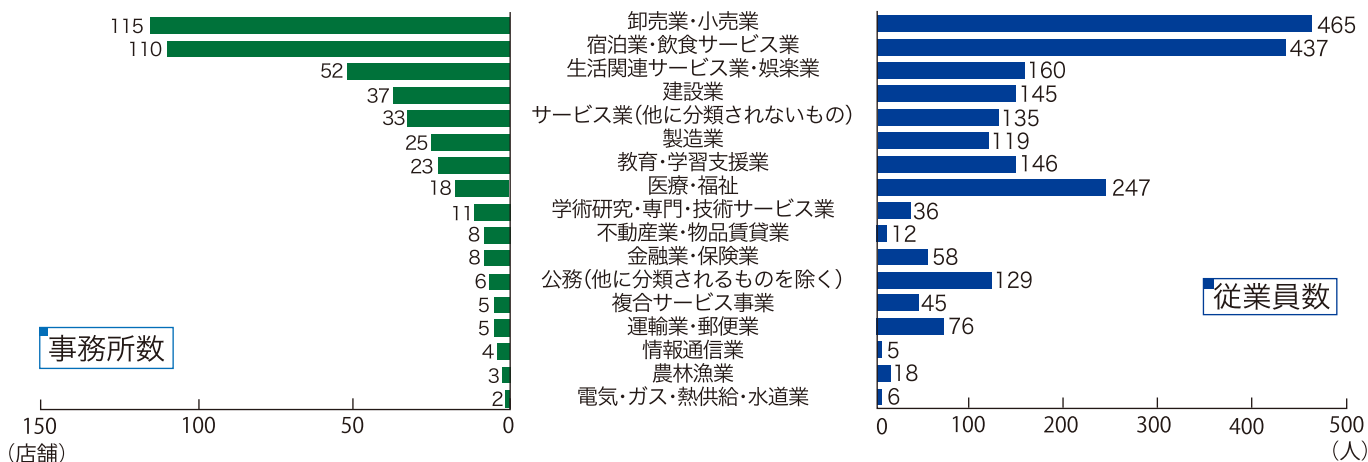
産業別就業者数



総農家数の推移



事業所数・従業者数



工業の推移

	事業所数(軒)	従業者数(人)	製品出荷額(万円)
平成27年	8	68	55,406
平成28年	9	95	71,385
平成29年	7	96	60,320
平成30年	7	97	62,758
令和元年	6	75	54,714

資料：工業統計調査(各年12月31日現在)

商業の推移

	事業所数(軒)	従業者数(人)
平成24年	162	643
平成28年	139	587
令和3年	115	465

資料：経済センサス活動調査

宿泊業の推移

	事業所数(軒)	従業者数(人)
平成24年	111	501
平成28年	85	366
令和3年	67	313

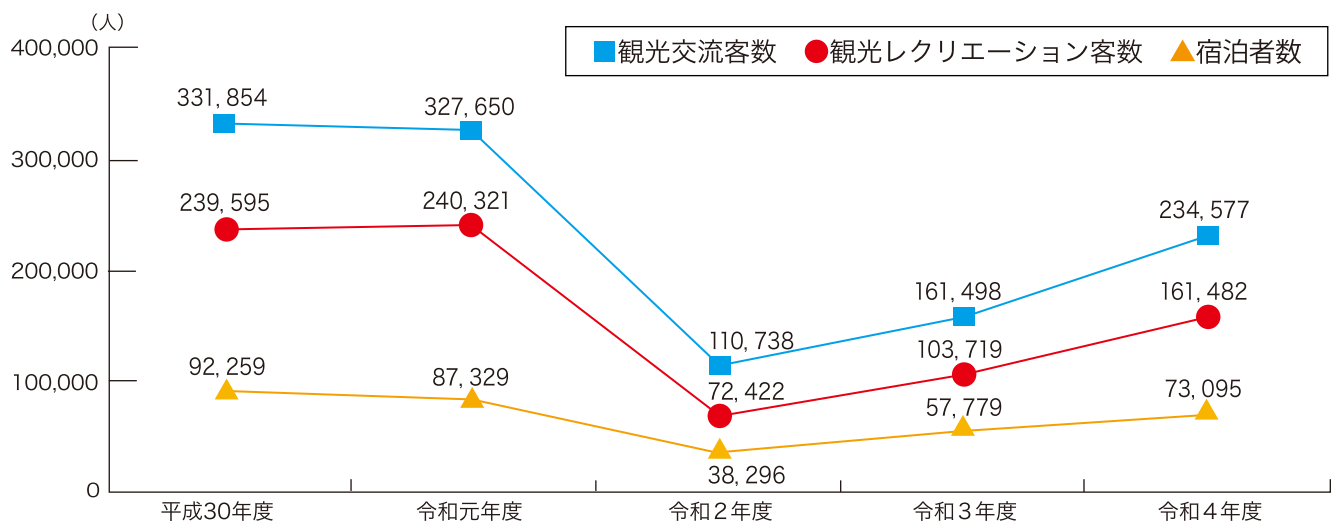
資料：経済センサス活動調査

建設業の推移

	事業所数(軒)	従業者数(人)
平成24年	55	236
平成28年	47	178
令和3年	37	145

資料：経済センサス活動調査

観光客の推移



資料：観光交流客数調査

水揚げ動向

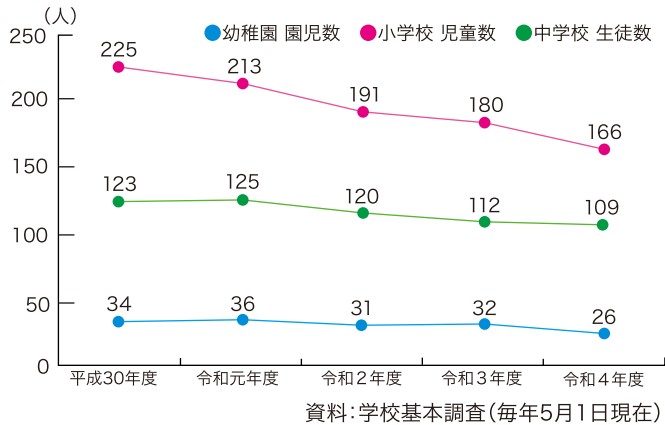
	岩地漁港		石部漁港		雲見漁港	
	陸揚量(t)	陸揚金額(万円)	陸揚量(t)	陸揚金額(万円)	陸揚量(t)	陸揚金額(万円)
平成30年	1.0	192	0.5	119	2.1	340
令和元年	0.8	234	0.5	63	1.4	397
令和2年	0.4	120	0.6	80	1.3	340
令和3年	0.3	137	0.8	76	1.5	330
令和4年	0.3	109	0.4	45	0.8	255

資料：産業建設課

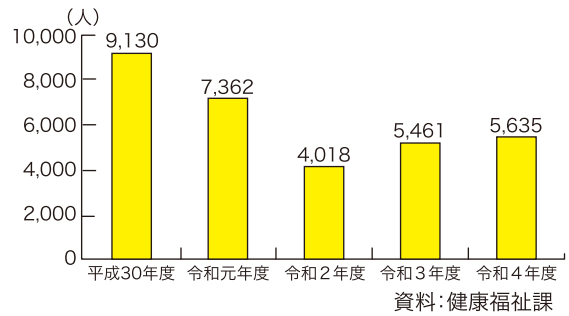
福祉、教育

時代が大きく変化するなかで、園児・児童・生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、豊かな感性や創造力を育む教育の果たす役割は、ますます重要となっています。学校では、自然体験や郷土学習の実践など、地域の伝統文化を尊重した学習を展開するとともに、教職員の資質向上や教育環境の安全確保に努め、信頼される学校づくりを目指しています。

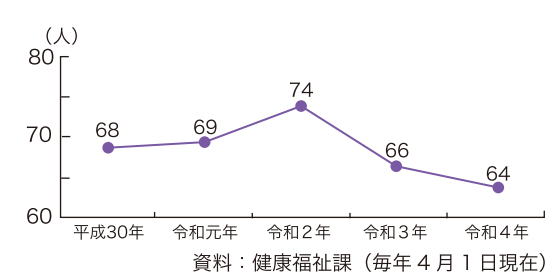
園児・児童・生徒の推移



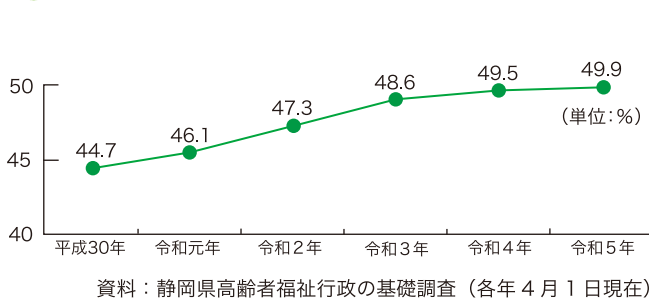
児童館利用状況



保育所 児童数



高齢化率



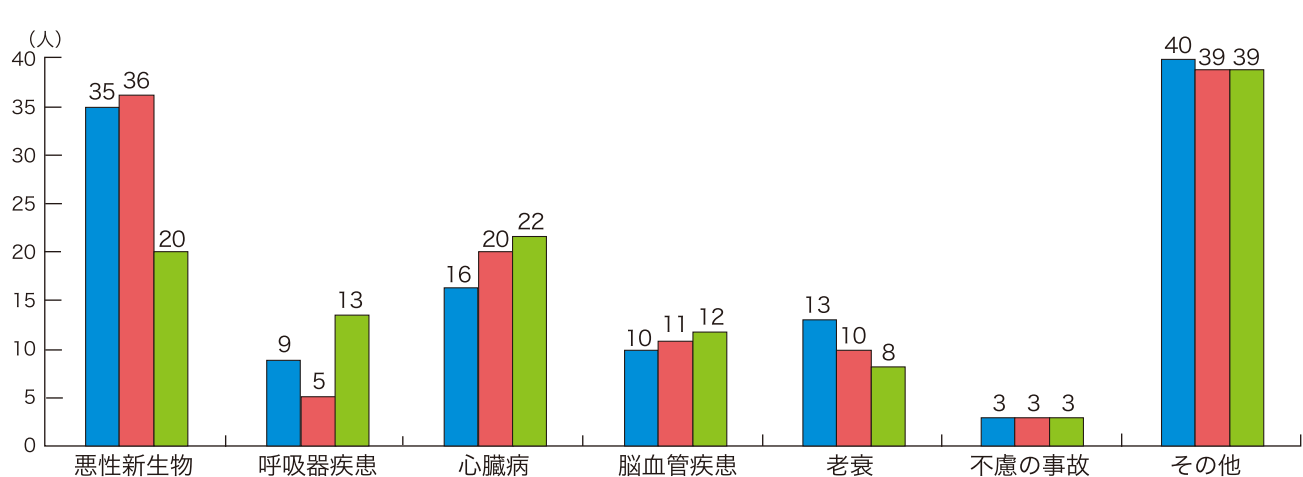
お達者度

※お達者度(65歳からの平均自立期間)

	男		女	
	お達者度(年)	県内順位	お達者度(年)	県内順位
平成28年	17.3	31	20.03	33
平成29年	17.54	29	20.36	32
平成30年	17.45	30	20.56	31
令和元年	17.73	27	21.19	23

資料：市町別「お達者度」

死因別死亡者数



資料：静岡県人口動態統計

図書館利用状況

来館者数	12,511人
貸出人数	8,108人
貸出冊数	26,263冊
蔵書数	34,328冊

資料：教育委員会(令和4年度)

環境改善センター利用状況

単位：(人)

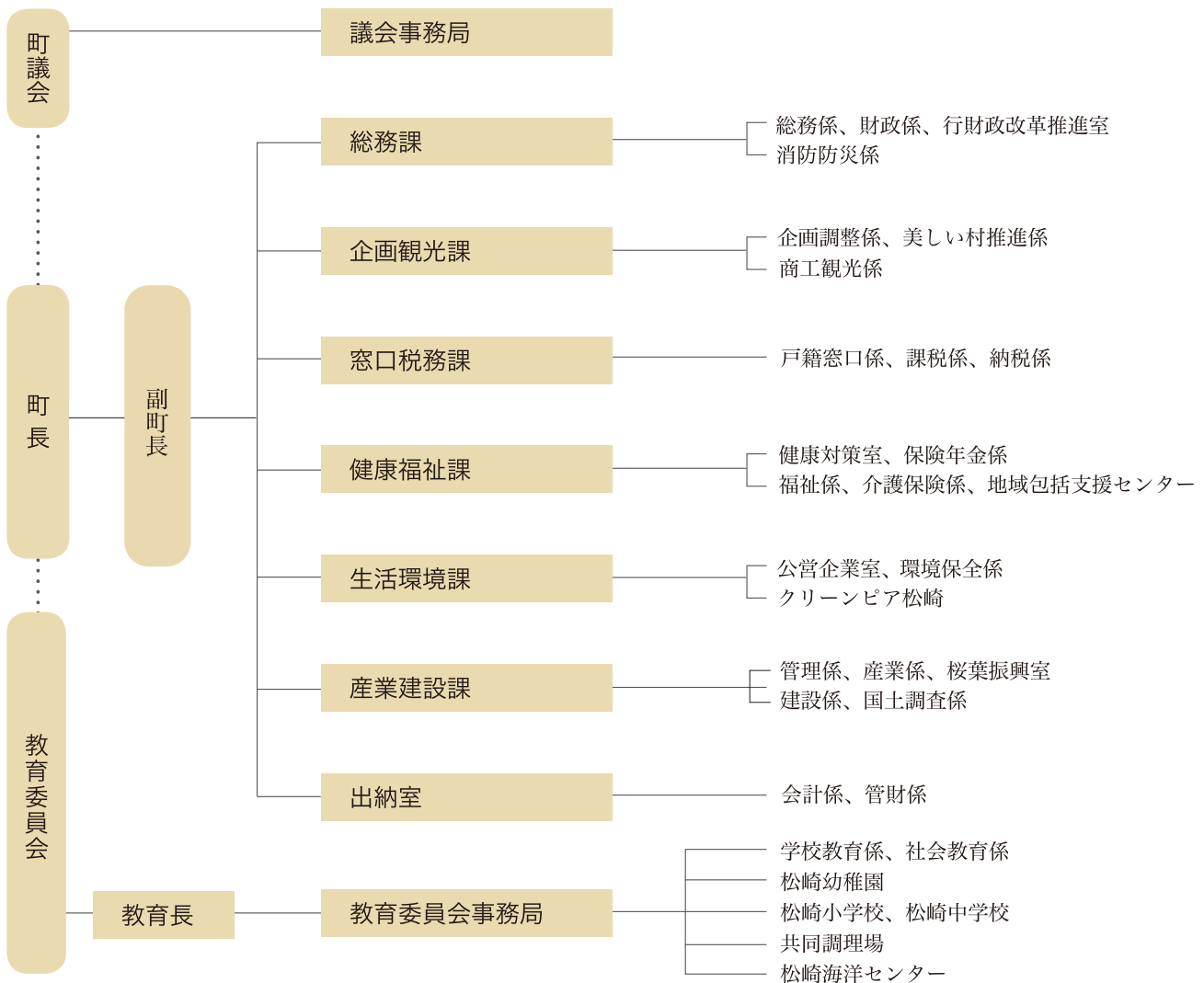
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者	28,920	32,201	17,011	31,514	25,149

資料：企画観光課

議会、行政

町政の最高議決機関としての町議会は、議員8人によって構成されています。住民の声を直接反映する議会であるべく、町の年間予算や様々な条例などを審議しながら、松崎町がどうあるべきか、将来に向けてどういった進路を取るかを検討しています。

役場の機構



令和6年3月1日現在

職員数

総数	事務職	技師	幼稚園教諭	技能労務員
83人	71人	2人	5人	5人

資料：総務課(令和5年4月1日現在) ※ 町長・副町長・教育長は除く

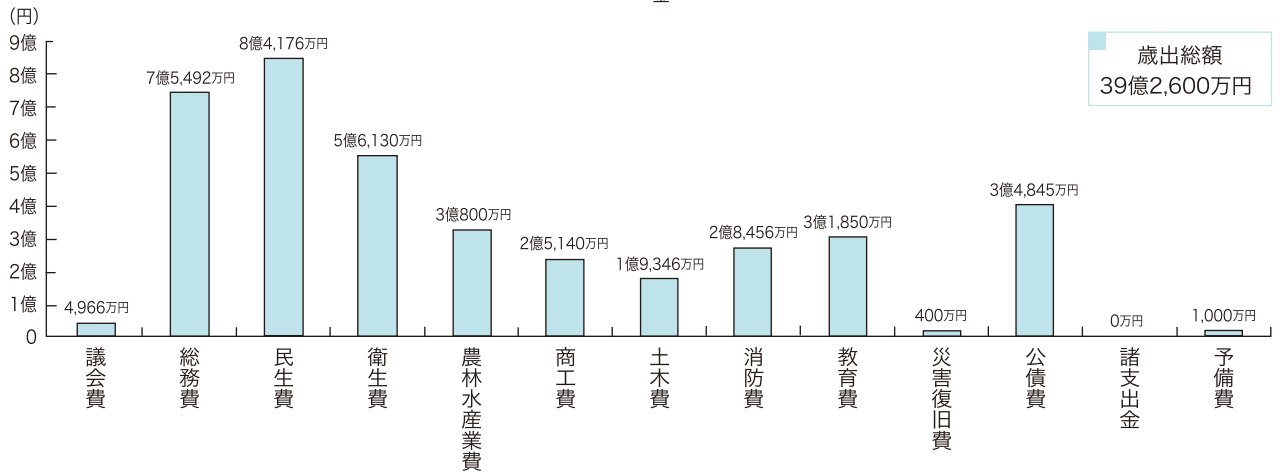
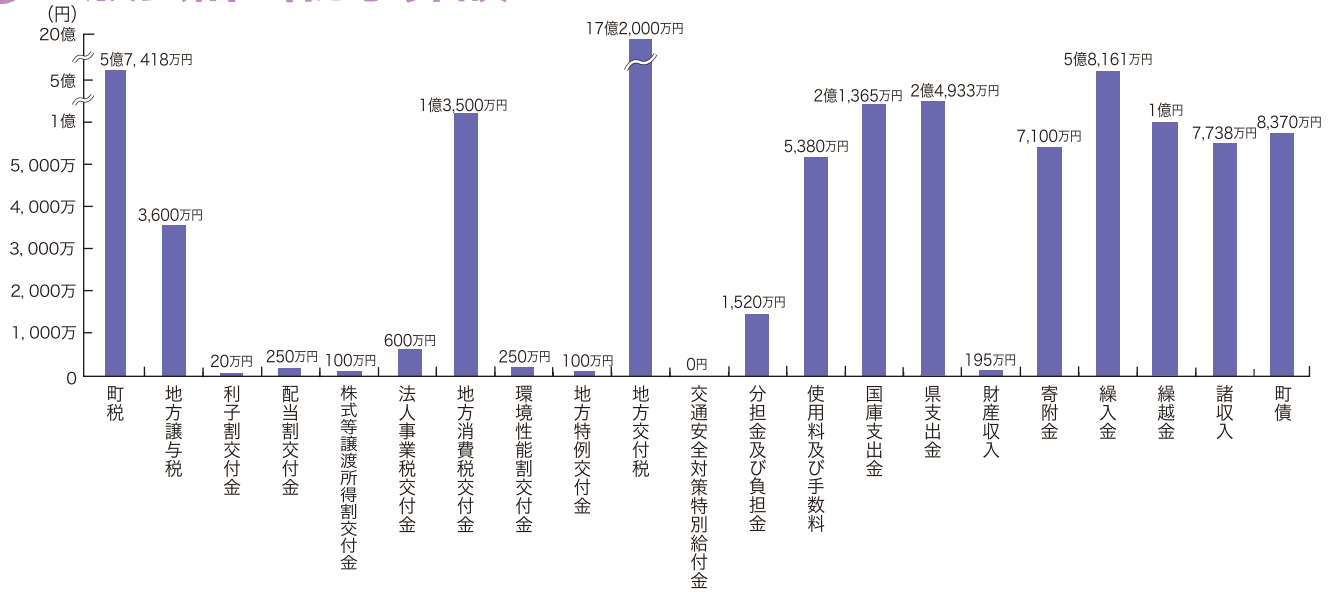
財政

松崎町は、自主財源が乏しく、厳しい財政状況ですが、行財政運営の合理化に努め、限られた財源を有効に活用しながら健全かつ計画的な財政運営を図っています。

一般会計当初予算額

令和5年度

歳入総額
39億2,600万円



歳出総額
39億2,600万円

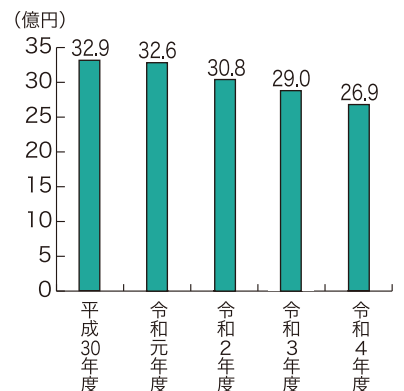
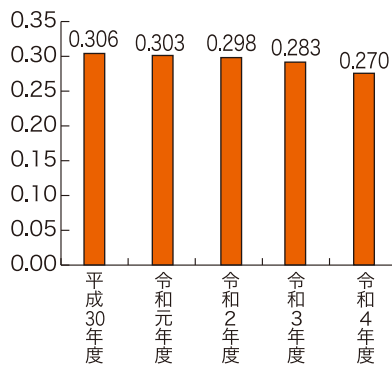
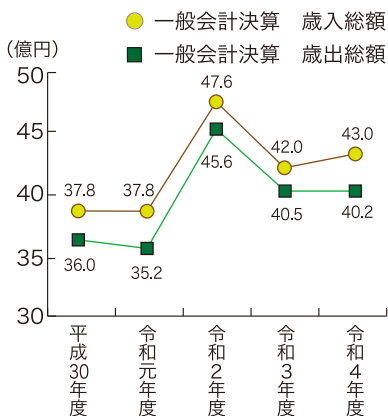
一般会計決算額

財政力指数

(3ヶ年平均)

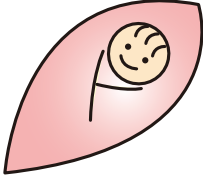
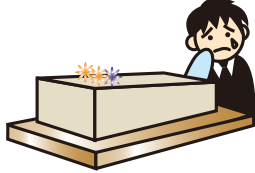

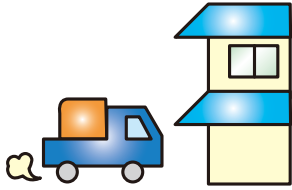
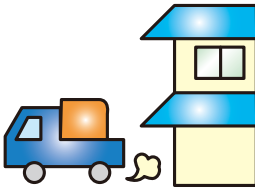

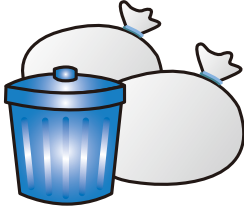
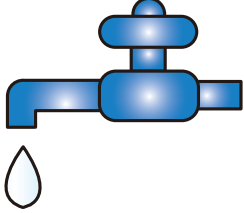
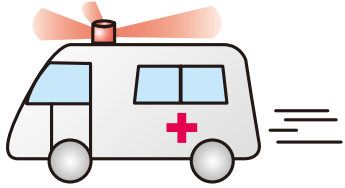
地方債現在高

(一般会計)



資料：総務課

一年で見る 松崎町の数字

<p>出生 (令和4年度)</p>  <p>17人</p>	<p>死亡 (令和4年度)</p>  <p>143人</p>	<p>交通事故 (令和4年)</p>  <p>16件 ※人身事故のみ</p>
<p>転入 (令和4年度)</p>  <p>170人</p>	<p>転出 (令和4年度)</p>  <p>181人</p>	<p>火災 (令和4年)</p>  <p>0件</p>
<p>ごみ排出量 (令和4年度)</p>  <p>一人あたり 約417kg</p>	<p>水道使用量 (令和4年度)</p>  <p>一人あたり 約150m³</p>	<p>救急 (令和4年)</p>  <p>417件</p>

町民一人あたりにおける予算の使われ方

(令和4年度)

一人当たり、677,687円

令和5年3月末住民基本台帳人口 5,925人

議会費 7,894円	総務費 123,948円	民生費 146,089円	衛生費 88,949円
農林水産業費 43,630円	商工費 68,235円	土木費 32,746円	消防費 45,224円
教育費 47,725円	災害復旧費 13,991円	公債費 59,256円	

町章



松崎町の「マ」を雄飛する鶴に見立て、「ツ」と組み合わせて太平洋にのぞむ伊豆半島の形にデザイン化し、松崎町の美しい景観を表現しました。また、常に前進する町のシンボルとして「マ」と「ツ」には理想に燃える聖火の意味をも重ね合わせました。(昭和40年11月制定)

マスコットキャラクター



「まっちー」は、平成25年1月に誕生した松崎町のマスコットキャラクターです。松崎町の「桜葉・桜」「なまこ壁」「豊かな自然」「元気な子ども」をモチーフに組み合わせたキャラクターです。

町の木 (マツ)



町の花 (ツワブキ)



● 姉妹都市・地域交流

おびひろ 北海道帯広市



帯広開拓の父、依田勉三翁の出身地が松崎町である縁から、昭和53年5月20日に「開拓姉妹都市」の締結をしました。お互いに親善訪問や地場産物の交換などを行い、交流を深めています。

あずみ 長野県松本市安曇地区



上高地で知られる安曇地区は、北アルプスや梓川の清流などの豊かな自然美あふれる全国でも有数な観光地です。平成18年に旧安曇村は松本市と合併しましたが、毎年、中学生や町民の親善訪問など地域交流を続けています。

ふじのみや 静岡県富士宮市



イワナガヒメ(姉:松崎町雲見 浅間山)とコノハナサクヤヒメ(妹:富士宮市 富士山)の姉妹の伝承が縁となり、令和4年11月19日にヒメの里交流都市提携を結びました。

双方のイベントに参加するなどの交流が行われており、今後も産業・観光のほかに、防災・教育・文化・スポーツなどの交流により、相互の親善を深めていきます。